

有機栽培における水稻の生育とコナギの抑草効果

福島県農業試験場種芸部
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稻－水稻－雑草防除
分類コード 01-01-20000000
- 2 担当者 島宗知行・鈴木幸雄
- 3 要 旨

(1)福島県中通りの水稻有機栽培現地ほ場においては、いずれのほ場でも、コナギが優 占草種となっているが、水稻のが繁茂して遮光の程度が大きくなる育成中期以降になるとコナギの減少する傾向がみられる。

(2)水稻の栽植密度とコナギの関係は、水稻の株間が狭いほど、田面は早く遮光され、コナギの乾物重が少なくなる。

以上の結果、代かきや有機物の散布によって防除効果を得にくいコナギの制御には、水稻が遮光による抑草力を発揮するよう、初期生育量の確保が有効である。

- 4 その他の資料など